

# 須賀川の風物詩『松明あかし』

待ちに待って

## 松明あかし

冬の季語に

KADOKAWA 俳句歳時記 冬



詩情そして季語を生み育てる歴史文化、風土性が十分に含まれなくては季語となりません。季語として定着するには、優れた作品がでてくる必要があります。

小松明ほつぽつと丘上りゆく 道山草太郎  
 路地の闇大松明を担ぎ出す 高久田橙子  
 火の粉とんで星に消ゆるや松明し 竹内翠玉  
 松明あかし甲冑の闇動きけり 高橋 小峨  
 松明あかし天に梯子をかけにけり 齋藤 耕心  
 (須賀川 季語紀行より)  
 火の柱の火の壁の松明あかし 金子 兜太  
 須賀川に火祭り二つ冬が来る 森川 光郎  
 松明あかし果て真つ白な月残る 永瀬 十悟



角川書店が編集した「俳句歳時記 第五版冬」に季語に収められました。県内行事では、相馬市、南相馬市の「相馬野馬追」と須賀川市の「牡丹焚火(昭和53年)」に続いて三つ目です。

冬の季語はこんなにたくさんあるんだね



想像力をいっぱいひろげてみてね

なにが楽しかった？どんな気持ちだった？

どんな形しているの？さわってみた？においはあるかな？

5・7・5 指おり数えて、ほら！できた



ふゆぐもはゆつくりゆつくりながれてる 1年  
 マフラーあむけいとをくるっとかえしてね 1年  
 おちばねふんだらシャキシャキおとがなる 1年  
 クリスマスちきゆうぎ日本ありました 2年  
 時計台上にひろがる冬の雲 3年  
 冬木のみマッチみたいになつじの木 3年  
 おとしだまおちばの下におちていた 2年  
 ゆきだるまはなににんじんぐつとさす 4年  
 スケートでしりもちついて大笑い 5年  
 えびがすすきおせち料理が目の前に 5年

先生とおしゃべりをしながらの俳句づくり。  
 はじめて俳句よんだよ！  
 花丸たくさんもらった！  
 そんな楽しい時間で出来た冬の俳句を少し紹介します。



冬の俳句出前教室を実施しました。  
 ▼大森児童クラブ  
 ▼稲田児童クラブ

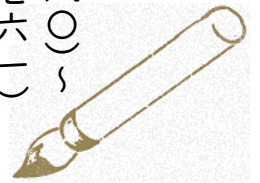


# 冬休みこども俳句出前教室

# 先人をしろう六

ふじい しんりゆう  
藤井 晋流

延宝八年(一六八〇)〜  
宝暦十一年(一七六一)



## 等躬の後継者として俳諧の継承に努めました。

名は佐膳。通称、源右衛門、俳号を晋流、しゅ月洞、百柳軒といい、上州(群馬県)小泉村に生まれます。晋流は芭蕉の弟子の一人、宝井其角から俳諧を学び、相当の俳歴を持っていました。

縁があり須賀川の富豪藤井総右衛門の長女の久須(俳号霜楠)の婿となった晋流は、分家として居をかまえ、商いに励んでいました。藤井家は、甲州武田家の家臣でしたが、主家没落後、各地に移り住み、その後、須賀川で町年寄役などを務めていました。

晋流は、37歳のとき、妻に先立たれてからは、俳諧の大家と交わり、諸国行脚もして、数多の各地の俳人らと交流を持ちました。…つづく…

- ※ 宝井其角：芭蕉の弟子の中で特に優れていた江戸の俳人。
- ※ 町年寄：町役人の筆頭で町内の日常行政を取り扱う有力者。

### 俳句をよもう

#### 節分 せつぶん

節分の豆をだまつてたべて居る 放哉  
このころは、福の神のおられる方向を向いて巻寿司をだまつてかぶりつく習慣が定着しています。

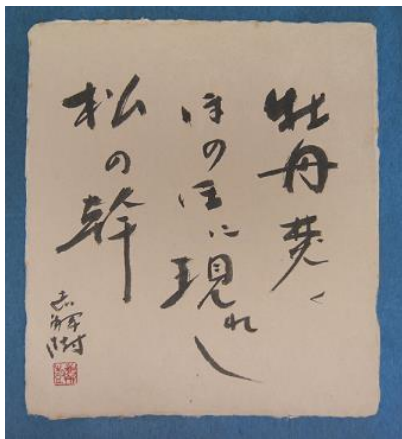
恐るべき年取豆の多きかな たみ子  
恐るべきというぐらいなので、片手であふれるのでしょうか。ともあれ、豆一つ加えられることに感謝したいですね。

節分の人影大きく夜の障子 みどり女  
大きく映る人影は家の主人でしょうか？それとも…。



「節分」は季節を分ける日という意味。本来は立春、立秋、立冬の前日、春夏秋冬全ての季節の変わり目にあります。現在は、立春の前日が重んじられています。豆まきに炒った豆を使うのは、生の豆だと、庭などに落ちたら、そこで芽が出て、縁起が悪いので、炒った豆を使います。豆まきがすんだら、新しい年、季節へ願いを込めて、自分の歳より一つ多く豆をいただきましょう。

### 収蔵品の紹介



(色紙) 牡丹焚くほのほに現れし松の幹 志解樹

牡丹焚火は、天寿をまつとうした牡丹の古木を集めて焚く供養行事です。松明あかしの「動」と対照的な「静」を感じます。

青柳志解樹  
長野県生まれ。  
「山暦」創刊主宰

### 言の葉

二十四節気一  
大寒(1月21日ころ)  
二十四節気の一番さいごになります。小寒から立春前日までの30日間は「寒の内」と言われ、文字通り一年で一番寒さのきびしいときです。この時期の水は細菌が少ないと言われ、みそやしょう油、酒づくりの仕込みが始まります。

【須賀川市芭蕉記念館から版第15号】をお届けします。

今月は、俳句ポスト選句会が行われます。今回もどんな句が届くかなあそびみです。

### 投句募集

俳句  
ポスト  
第二回×切は1/16です。